

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	利用者全員の避難を考えると、地域の協力は不可欠と思われる。ホームの現状を伝えると共に訓練の見学、参加を呼びかけ、協力体制作りに取り組まれることを期待したい。	利用者全員が安全に避難できるよう、地域の協力体制づくりに努める。	運営推進会議を利用して、ホームの避難訓練計画をお知らせし、参加を呼びかける。	12ヶ月
2	36	誇りやプライバシーの確保について、居室の扉を題材とし、全職員での話し合い、確認の機会を持たれることを期待したい。	利用者の立場となって、プライバシーについてどう確保していくことが望ましいのかを検討する。	各居室扉においては、スリガラス部分に目隠し用のシートを貼り、外から見えにくいようにした。	1ヶ月
3	40	利用者と職員が同じ食卓で同じものを食べることは、本人の状態把握や会話の糸口の発見につながる。食事を楽しめる環境作りを、今一度検討いただきたい。	利用者と職員が同じ食卓で食事を共にすることで、利用者の状態把握等ができ、楽しい食事環境作りができる。	利用者と職員が同じ食卓で、共に食事をする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。